

七十八ページ「同じ読み方の漢字」の本文を参考に答えよう！

日本語には同じ読み方でも違う漢字を使うときがあります。

例えば、「あつい」は「熱い」「厚い」「暑い」といった漢字があります。これらの漢字から前後の関係を考え、どの漢字を使うのが適切なのか考えるのが大切です。この後の問題に教科書や辞書を参考にしながら取り組んでみましょう。

【一】次の文の四角には、（ ）の中のどの漢字を使うのが適切でしょうか。

①さす（差す・指す）

・時計の針が十二時を

・武士が腰に刀を

②つく（付く・着く）

・景色のよい場所に

・くつにどろが

③はかる（測る・計る・量る）

・校舎から正門までのきよりを

・往復にかかる時間を

・肥料の入った袋の重さを

【二】同じ訓の漢字を集めましょう。それぞれの漢字の意味を調べ、文章を作ってみましょう。

例（意外・以外） 《意外と武藤君以外はちゃんとやってきた。》

（ ）

【三】次の文を読んで、同じ読み方をする部分に線を引き、それぞれの言葉の意味を、国語辞典で調べましょう。

- ・ 体育委員会で競技について、協議する。
- ・ 暴風に備えて、防風林を作った。
- ・ あの人物の功績は、新しい鉱石を発見したことだ。
- ・ 製糸工場の技術が向上する。
- ・ 自身が作った詩の中から、自信作を発表する。
- ・ 太平洋を航海した旅の記録は、非公開となった。